

チークでひと工夫！若々しい印象に

2019年2月

年齢を重ねると、顔のいろいろな部分に変化があらわれます。シミができたり、ツヤや透明感がなくなって肌の色がくすんで見えたり、フェイスラインが下がったり。「チーク」はそんな変化を感じている大人の女性にこそ、使ってほしいメイクアイテムです。今回は、肌悩みをカバーして、若々しい印象をつくるチークの使い方をご紹介します。

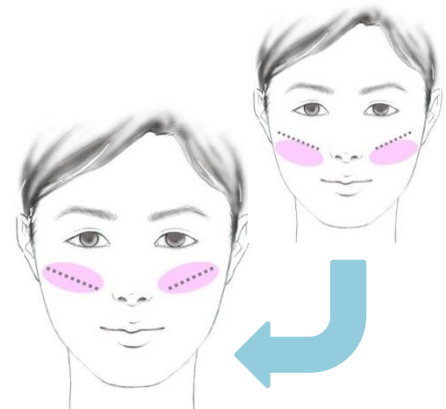
◆チークの効果

チークには、さまざまな効果があります。頬に血色感を与えるだけでなく、くすみをとばして透明感のある美しい肌に仕上げる効果や、メイク全体の色のバランスを整える効果など。使い方を工夫することによって、大人の女性の肌悩みもカバーできます。ご自分の持っているチークで若々しい印象に仕上げましょう。

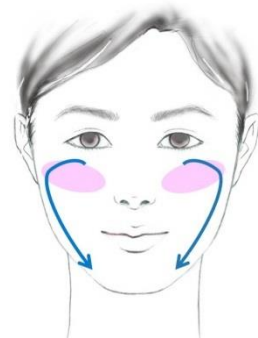
◆大人女性のチークの入れ方・場所

①チークブラシにたっぷりチークを含ませ、ティッシュペーパーや手の甲で余分な粉を払い、発色を調整します。このひと手間でチークのつけすぎを防ぎ、自然な印象に仕上げることができます。

②頬骨に沿って、顔の中央からこめかみに向けて入れるのが基本です。年齢とともに下がりぎみになるフェイスラインが気になる方は、頬骨よりやや高い位置に入れると頬がキュッと上がって見え、若々しい印象に仕上がります。逆に頬骨より下に入れると頬が下がって見えたり、疲れた印象を与えやすいので、位置はとても重要です。また、頬がこけて見えがちな方は、頬骨を中心にやや広めにふんわり入れると、ふっくらした印象に仕上がります。



③ブラシに残っているチークを使って、ハートを半分描くように、頬の一番高いところからフェイスラインに沿って顎の先まですべさせます。ほんのりチークの色が入ることでシェード（影）効果が生まれ、たるんで見えがちなフェイスラインがすっきりした印象に仕上がります。



◆色やタイプの選び方

チークの色は、彩度のある華やかなものをおすすめです。肌なじみのよいコーラルやピンクを選ぶと、自然な血色感や透明感がプラスできます。くすみがかかった色は顔色が暗く見えてしまったり、パール感が強いものは気になるしわが逆に目立ってしまったりするこ

とがあるので、大人の女性は避けた方が無難です。チークの剤型はパウダータイプが多いですが、クリーム・スティック・リクイドなどもあります。普段使っているファンデーションのタイプ（リクイド・パウダー）と同じ剤型を選ぶと、より肌になじみやすくなります。また最近では、ツヤを与えてくすみをカバーする明るい色と、チークカラーがひとつにセットされた商品もあります。明るい色を、チークを入れる前に頬全体に入れたり、メイクの仕上げにくすみが気になる部分に軽く入れたりすると、肌悩みをカバーしながらトレンドのツヤ肌も演出できるのでおすすめです。